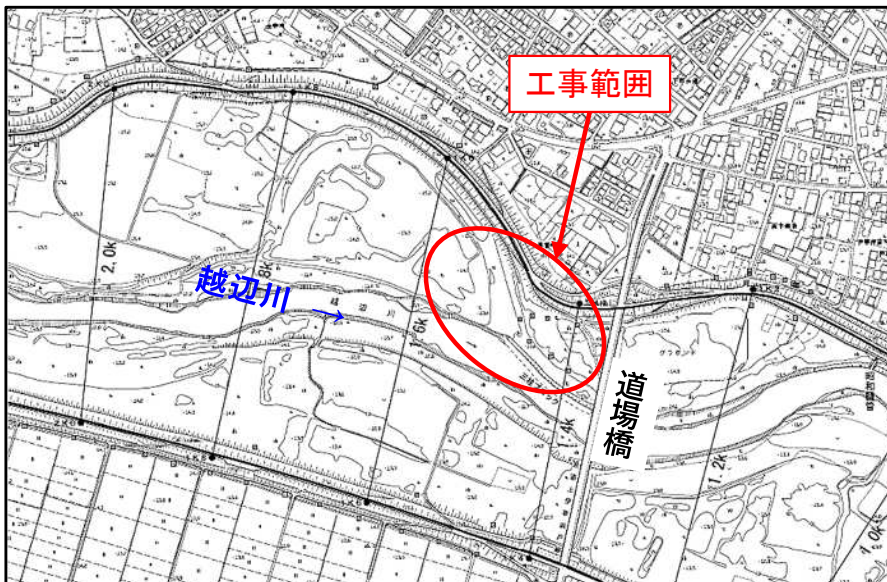


斜め写真

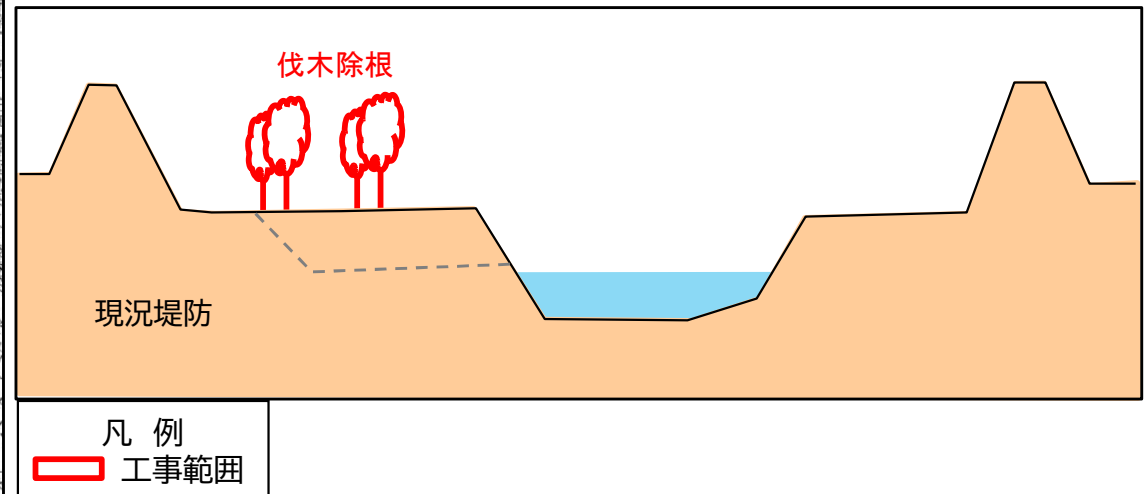


○着 手:令和4年11月
○完了予定:令和5年3月末

平面図



標準断面図



工事の目的

流下能力向上を目的とした河道掘削範囲の樹木伐採。



「R3 荒川上流水辺現地調査(基図)業務 報告書」の植生図データより



写真① 上流側から下流方向



写真② 下流側から上流方向

主な環境

- ・調査範囲内は、主に竹林と樹林地で構成されている。
- ・竹林では、重要種のウグイス、ホオジロのほか、特定外来生物のガビチョウが確認されている。
- ・樹林地では、ゴマキやウマスゲなどの重要種が確認されているほか、重要(鳥類)が確認されている。

環境への配慮

- ・工事は、多自然川づくりに基づいた設計を行い、施工は、低振動・低騒音など環境配慮を実施する。
- ・工事施工範囲周辺で確認された重要種や在来種情報については、工事施工時に踏み荒らしなどをしないように施工業者と情報を共有する。
- ・重要種(鳥類)については生息状況を定期調査し、状況を把握しながら施工する。